



特別史跡・特別名勝
小石川後樂園

- 開園年月日
昭和13(1938)年4月3日
- 開園面積
70,847.17㎡
- 開園時間
午前9時～午後5時
(入園は午後4時30分まで)
※イベント開催期間などで
時間延長が行われる場合もあります。
- 休園日
年末年始(12/29～1/1)
- 無料公開日
みどりの日(5月4日)
都民の日(10月1日)
- 庭園ガイド(無料)
土曜日、日曜日、月曜日、祝日
午前11時と午後2時
※気象状況等により実施を中止する場合があります。
当日の実施についてはサービスセンターにお問い合わせください。

【お問合せ先】
 小石川後樂園サービスセンター
 ☎03-3811-3015
 〒112-0004 文京区後楽1-6-6

スタンプ欄

特別史跡・特別名勝

こいしかわこうらくえん
小石川後樂園
Koishikawa Korakuen Gardens

水戸黄門ゆかりの名園



文化財庭園へご来園の皆様へ

都立庭園は、江戸、明治、大正時代から続く歴史・文化・自然を兼ね備えており、いずれも国や都の文化財に指定されています。震災や戦災、進む都市化の中で残された貴重な存在であり、この貴重な存在がよりよい状態で後世に残るよう、皆様にご理解とご協力をお願いいたします。

【庭園からのお願い】

- ペット(動物)を連れてのご入園、園内の動植物の採集、動物の利用、酒類の持込みはご遠慮ください。
- 写真撮影、写生は建物・添景物保護のためにお断りする場所があります。
- 文化財は不定期で保存修理工事を要することがあり、一部ご観賞いただけない部分があります。
- 園内全面禁煙です。喫煙所はありません。

都立文化財9庭園

- 浜離宮恩賜庭園
- 旧芝離宮恩賜庭園
- 小石川後樂園
- 六義園
- 旧岩崎邸庭園
- 向島百花園
- 清澄庭園
- 旧古河庭園
- 殿ヶ谷戸庭園

	個人	団体 (20名以上)	年間パスポート (小石川後樂園)	年間パスポート (9庭園共通)
入園料	一般 300円 65歳以上 150円	240円 120円	1,200円 600円	4,000円 2,000円
無料	小学生以下(要付添)及び中学生(都内在住もしくは在学) 身体障害者手帳、ミライロID、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳 または療育手帳持参の方と付添の方			

集会場 (貸室) かんとくとい 酒徳亭	①昼の部 12:30~16:00	②夜の部 17:00~20:30	③昼夜通し 12:30~20:30
広間(40名)	5,800円	5,800円	11,600円
円月・不老・蓬萊(各15名)	2,100円	2,100円	4,200円
別間(20名)	3,900円	3,900円	7,800円
日本間(10名)	2,100円	2,100円	4,200円

※6ヶ月前の同日午前9時から受け付けます。※庭園観賞には別途入園料が必要です。



- 【交通のご案内】
- 東門
 - JR総武線「水道橋」(西口)から徒歩5分
 - 東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」(2番)から徒歩8分
 - 都営三田線「水道橋」(A2)から徒歩8分
 - 西門
 - 都営大江戸線「飯田橋」(C3)から徒歩3分
 - JR総武線「飯田橋」(東口)から徒歩8分
 - 東京メトロ東西線・有楽町線・南北線「飯田橋」(A1、A3)から徒歩8分
- ※駐車場はありません。



東京都公園協会全般に関する問い合わせ先
 東京都公園協会本社 TEL. 03-3232-3011 ※8:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除く)
<https://www.tokyo-park.or.jp>
 発行：文化財庭園課 TEL. 03-3232-3018 24.10

指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会

大江戸・東京に残る深山幽谷

小石川後樂園は江戸時代初期、寛永6年(1629年)に水戸徳川家の祖である頼房が、その中屋敷(のちに上屋敷となる。)に造ったもので、二代藩主の光圀の代に完成した庭園です。庭園の様式は池を中心にした回遊式築山泉水庭園になっています。光圀は、造成に当たり明の遺臣朱舜水の意見を用い、円月橋、西湖堤など中国の風物を取り入れ、園名も朱舜水の命名によるなど中国趣味豊かな庭園です。

後樂園の名は、中国の范仲淹「岳陽樓記」の「天下の憂いに先だつて憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ」からつけられました。

小石川後樂園は文化財保護法によって国の特別史跡・特別名勝に指定されています。この重複指定を受けているのは、全国でも小石川後樂園、浜離宮恩賜庭園、金閣寺など、ごく限られています。

とくじんどう 得仁堂

光圀18歳の時、史記「伯夷列伝」を読み感銘を受け、伯夷・叔斉の木像を安置した堂です。



つうてんきょう 通天橋

京都東福寺の通天橋を模して造られました。



せいこ つつみ 西湖の堤

中国の杭州(現在の浙江省)の西湖の堤に見立てたものです。本園以後、日本各地の大名庭園に大きな影響を与えたとわれています。



えんげつきょう 円月橋

水面に映る形が満月のように見えることからつけられた名称。明の儒学者、朱舜水による設計といわれており、得仁堂とともに当時の姿を留める貴重な建造物です。



ばいりん 梅林

光圀は号を「梅里」と称するほど梅を好みました。2月上旬には紅梅、白梅など30種類ほどの梅が咲きます。



いなだ 稲田

光圀が、農民の苦勞を彼の嗣子・綱條の夫人に教えようと造った田圃。現在は地元文京区内の小学生が、5月に田植え、秋に稲刈りを行い、伝統行事を守り継いでいます。



うちにな 内庭

水戸藩書院のあったところです。唐門によって仕切られ、大泉水側の「後樂園」と分かれていました。



のべだん 延段

大小の自然石と切石を巧みに組み合わせた中国風の素朴な石畳です。



からもん 唐門

かつての「後樂園」への正式な入口。戦災で焼失しましたが、令和2年(2020年)に復元されました。



だいせんすい この庭園の中心となる景観。蓬莱島と竹生島を配し、琵琶湖に見立てて造られました。昔はこの池で舟遊びをしたといわれています。



水道橋駅→
売札所 東門 出入口

駐歩泉の碑

庭園ガイド集合場所

出入口
西門
飯田橋駅→

車いす通行可ルート

0m 50m